

退職金3分割支払い なんとかして 退職従業員2名からメール相談

15日、県労連及び共産党にそれぞれ、早期退職従業員から早期退職者の特別退職金（上積み退職金）についての相談がありました。

県労連には45歳・勤続28年の退職者から、「早期退職について会社は説明会で希望者が想定数に充たない場合、指名解雇を辞さないことを告げられ、希望者が殺到しました。この結果、特別退職金の資源不足し、3分割をWebで通達しただけ。説明会もありませんでした」「当初の説明会では3分割の話はありませんでした」と。3分割は、今年11月に3割、来年3月に3割、来年9月に4割を支払うというものです。

県労連は早速、会社が早期退職募集の資金として1,550億円を計上していること、退職給与引き当て金を含む内部留保金（溜めこみ利益）を2,887億円を溜めこんでいることから分割支払いする必要はないこと、県、労働局への申し入れで指導を求めることを返信したのです。それにしても会社のやり方は許しがたいものです。

「ルネサス」シンポジウム

日時 11月24日（土）14:00 ~ 16:30
場所 宇部市楠総合センター
講師 下関市立大学経済学部 准教授
関野 秀昭さん

パネルディスカッション（集団討論）
をおこないます。

「具体的計画示して

ほしい」山陽小野田市長

県、労働局、宇部市、柳井市にも申し入れ

ルネサスリストラ「合理化」対策実行委員会（会長・藤永佳久）は、18日、山陽小野田市・白井博文市長へルネサスエレクトロニクスのリストラ「合理化」についての申し入れをおこないました。申し入れでは、ルネサス本社や親会社のNEC、日立製作所、三菱電機へ山口工場、柳井工場の売却・閉鎖の撤回、従業員の雇用や地域経済をまもる抜本的な対策などを要望しました。

応じた白井市長は、本社に2度申し入れをした。皆さんには雇用や地域経済をまもる具体的な計画を示してほしかった。指定管理などを見直し、「失対事業」のような国や自治体が責任をもつ抜本的な雇用対策は今後検討する必要があるだろうと返答しました。

申し入れには、実行委員会・高根孝昭事務局長や中島好人市議など4名が参加しました。また、19日には県、宇部市、また、22日には山口労働局、柳井市にも申し入れをおこないます。